

釧路市地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

概要

阿寒町布伏内地区における公共交通は、長い間、民間の路線バスにより釧路市の支援を受けながら何とか維持されてきたが、近年の人口減少や高齢化に伴う利用者の減少により、赤字額が年々膨らむ状態が続いていた。

こうした問題の解消を図るため、「地域公共交通活性化及び再生に関する法律」に基づき、平成21年2月に「釧路市地域公共交通総合連携計画」を策定し、バスの乗車率の低い区間に対する恒常的な公共交通体系を構築するため、同地区においてバスとデマンド型乗合タクシーによる実証運行を4ヶ月間実施した。

その後、実証運行での利用者へのアンケート、住民説明会等により伺った意見・要望を取り入れ、より使い勝手の良い運行となるようバスとの接続箇所やダイヤを工夫し、平成22年12月より本格運行となり現在に至っている。

釧路市生活交通ネットワーク計画の目標

阿寒町布伏内地区において、将来の更なる高齢化や過疎化を鑑み、デマンド型乗合タクシーを導入することで、阿寒病院や釧路地区の総合病院等への移動手段の確保など、高齢者を主とした人口約140人の住民が安心して移動できる環境の持続的確保を目指す。

平成25年度事業概要

【運行区間】

釧路市阿寒町本町地区～同町布伏内地区

【事業概要】

過疎化が進む阿寒町布伏内地区において、公共交通の持続的確保を目的にデマンド型乗合タクシーを導入（平日6便 土日祝日4便）

地域公共交通の現況

釧路市阿寒町本町地区における地域公共交通

- 路線バス(3系統)・・・阿寒バス株
 - ・阿寒線(地域間幹線系統)
 - ・阿寒本町線 山花経由(市町村生活バス路線)
 - ・阿寒本町線 大楽毛経由(釧路市単独補助路線)
- スクールバス(4系統)・・・釧路市運行
- 患者等輸送バス・・・釧路市運行
 - ・3地区に分け各地区週1回阿寒病院まで往復運行(無料)

釧路市地域公共交通会議開催状況

- 平成24年6月22日 第1回会議を開催

【協議事項】

地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請について

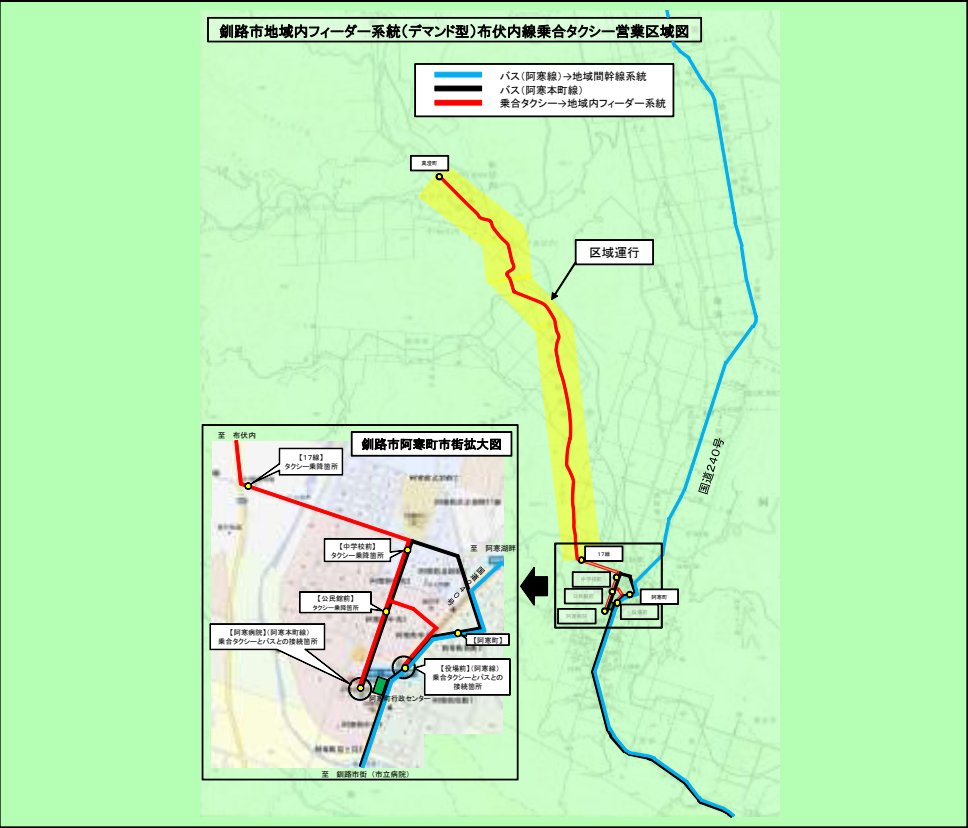


平成25年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

デマンド型乗合タクシーの本格導入前に、総合事業において実証運行を実施し、住民説明会や運行内容等のアンケート調査を行った。
より使い勝手の良い運行体系となるよう、本格運行ではこれらの意見や要望等を反映させ、バスとの接続箇所を要望の多かった阿寒病院とすることで、実証運行時より利便性が大きく向上した。

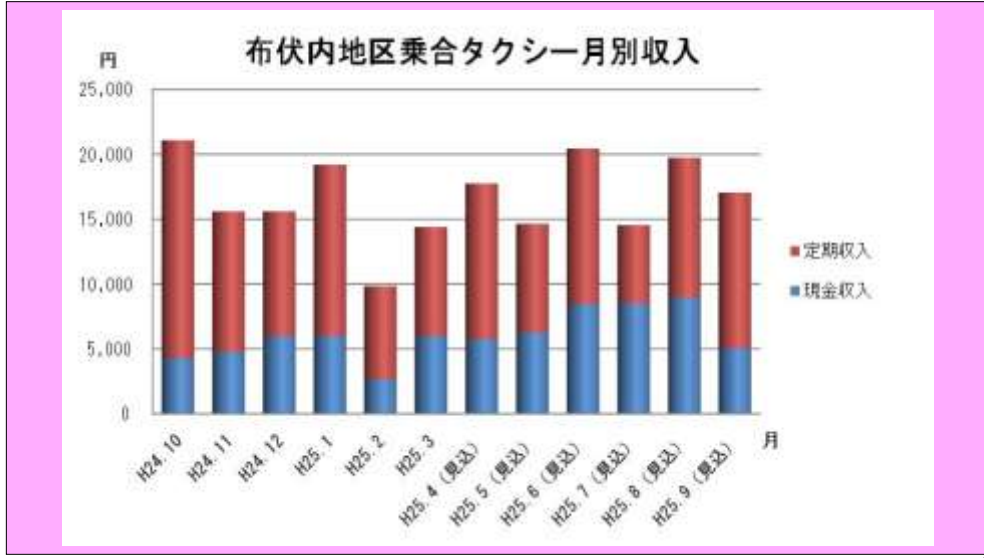
2) 運行ルート



3) 利用実績



4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

計画どおり事業は適切に実施されている。

6) 目標・効果達成状況

【年間利用者数】

目標1,800人以上/年に対して、1,701人/年の見込みである。

昨年度に比べ、人口減少(163人→144人)による過疎化が進んでいることや、高齢者の多い地区(高齢化率約65%)であるために外出機会が少なく、結果として利用減になるものと考えられる。

7) 事業の今後の改善点

運行地区は、高齢化や過疎化が進む人口約140人ほどの集落であるため、利用者は限られており、大きな利用者数の増加は見込めないものの、引き続き利用者のニーズに合った運行時刻等の見直しや、PRの強化により新規利用者の開拓を図っていく。

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・年間利用者数の目標に対し、近い数値に達する見込みであるものの運行地区は過疎化が進んでいることから大きな利用者の増加は見込めない。そのため、更なる利用者ニーズの把握に努め、利用円滑化及び利便性向上の取り組みを行うことにより、持続可能な事業となることを期待する。